

クリスマスに、ありがとう



きょうはクリスマス。

サンタクロースがやってきて、プレゼントをくれる日(ひ)。

「やさしくて、いい子(こ)のところにだけ、きてくれるのよ。」

おかあさんから、そうきいていたので、ゆめちゃんは、まいにちおてつだいをして、この日(ひ)をたのしみにしていました。

まくらもとに、くつしたをおいて、ドキドキしながら、ねむりにつきました。



あさがきました。くつしたをみると…。

「わあ！プレゼントがはいっているよ！
サンタさん、きてくれたんだ！」

ゆめちゃんは、おおよろこびでおかあさん
にいました。

「これからも、ずっといい子（こ）でいるよ！」

つぎのとしも、そのまたつぎのとしも、
ゆめちゃんはプレゼントをもらうことが
できました。



あるとき、ゆめちゃんはおもいました。

「いつまでプレゼントをもらえるのかな。」

おかあさんに、きいてみました。すると…。

「ゆめちゃんは、おねえさんになったのね。
せかいじゅうに、ゆめちゃんよりもちいさな
こどもたちが、たくさんいるから、
サンタさんはたいへんだよね。」

だから、いままでありがとう、これからは
ほかのこどもたちのところへ行ってあげてね、
と、おてがみをかいて、サンタさんに
プレゼントしてあげよう。」



ゆめちゃんは、ちょっぴり、さみしかったけれど、ことしのクリスマスは、くつしたのかわりに、おてがみをおくことにしました。

あさがきました。プレゼントは、やっぱりありません。でも…。

「ゆめちゃんは、サンタさんをおもいやれるいい子(こ)だから、おとうさんとおかあさんから、クリスマスプレゼントだよ。」

サンタさん、おとうさん、おかあさん、みんなみんな、ありがとう。